

第六十四回帝國議會 衆議院 小切手法案委員會 議 錄(速記)第五回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 小切手法案(政府提出、貴族院送付)

會議

昭和八年三月九日(木曜日)午前十時四十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 鳩山 秀夫君

理事篠原 義政君 理事鈴木 安孝君

理事作田高太郎君 理事内藤 正剛君

三上 英雄君

松本 弘君 渡邊幸太郎君

田邊 熊一君 花城 永渡君

高橋 義次君 世耕 弘一君

出席政府委員左ノ如シ

司法政務次官 八並 武治君

司法參與官 岩本 武助君

司法省民事局長 長島 毅君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

小切手法案(政府提出、貴族院送付)

○鳩山委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、前會政府委員カラ現行法ト此法案トノ

差異ニ付テ御説明ガアッタノデスガ、ソレニベテ戴キタイト思ヒマス

○松木委員 マダ全體ニ互ッテ私ハ研究ヲ

第六類第十四號 小切手法案委員會會議錄

シテ居リマセヌコトヲ自白スルノデアリマス、或ハ質問ニ非ズシテ、教ヲ乞フコトニナルカモ知レマセヌガ、政府委員ニ對シテ御尋ラシテ見タイト思フノデアリマス、此第二條ニ、支拂地又ハ支拂地ト看做スベキ小切手ニ關シテハ、振出地ニ於テ之ヲ支拂フベキモノトスト云フ規定ニナッテ居リマス、小切手ノ本質ヨリシテモ、實際ノ取引ノ實益便宜カラ致シマシテモ、小切手ハ本法ニ依リマスト云フト、宛名人ハ銀行ニ限ラレテ居ルノデアリマス、是等ノ規定カラ考ヘマスト、又取引ノ實際カラ考ヘマシテモ、宛名人ノ、即チ支拂人ノ營業所若クハ住所、居所ヲ支拂地トスルト云フトガ、寧ロ適切ナル規定デナイカト思ハレルノデアリマス、然ルニ此第二條ノ第三項ニ、振出地ヲ以テ支拂地トスルトセラレマシタノハ、ドウ云フ便宜ト實益ガ取引ノ上ニアリマスカ、ソレヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス

ハ、支拂人ノ營業所トカ事務所ト云フモノハ、マルデ分ラナイコトニナッテ居ルノデアリマス、ソコデ此支拂地ナリ或ハ支拂人ノ肩書ガ小切手ニ記載ノナイ時ニ、實際ノ支拂人ノ營業所ヲ搜シテ拂フト云フヤウナコトハ、寧ロ小切手ノ流通ノ上ニ不便デアラウト云フヤウナ考カラ、此振出地デ拂フ、斯ウナッテ居ルノデアリマス、而シテ振出地ニ於テ、實際此支拂銀行ガナイトカ何トカ云フヤウナコトニナレバ、結局ハ支拂ハレナイコトニナッテ、振出人ノ所ヘ償還請求ガ行ク譯デアリマス、詰リ小切手面ニ現ハレテ居ラナイ事柄デ、小切手ノ所持人ヲ拘束スルヨリハ、寧ロ振出地ト云フ、小切手ニ現ハレテ居ル形デ押ヘテ行ク、結局ソレデスカラ、此記載ノナイ場合、多クハ振出人ノ方ニ償還請求ヲスルト云フ形ニナル、ソレデ始末ヲ付ケタ方ガ簡單デ宜クハナイカト云フ考カラ出來タノデアリマス

○松木委員 併シ實際ノ取引カラ申シマスト、支拂人ノ住所、營業所ノ記載ガナクモ、凡ソ小切手ヲ振出ス場合ニ於テハ、宛名人ハ銀行デアリマスカラ、例ヘバ東京ノ川崎第百銀行ガ支拂人デアルトシテモ、東京ト云フ名稱ガナクモ、株式會社川崎第百銀行トスレバ、自ラ其支拂人ハ明デアル、銀行ニ非ザル場合ニ於テハ、斯様ナ規定ノ必要モ生ジマセウケレドモ、此小切手法ニ於テハ、殆ド銀行ニ非ザレバ宛名人タルコトヲ得ナイ規定ニナッテ居ルノデアリマスカラ、寧ロ支拂人ノ營業所、住所ヲ以テ支拂地トスルト云フトガ、實際ノ實益便宜ガアルヤウニ思ハレル、只今ノ政府委員ノ説明デアリマスト、邇來權ヲ行使スル場合ニ於テノ便宜ヲ考ヘラレタヤウニ思ハレルノデアリマスガ、實際ニ於テ斯ウ云フ規定ガ、非常ニ不都合ノコトヲ生ズルヤウニ私共ハ考ヘルノデアリマス、此政府委員カラ交付サレマシタ説明書ニ依リマシテモ、統一法ハ、支拂人ガ主タル營業所ヲ有スル地ニ於テ、支拂フト云フコトニナッテ居ル狀態デアリマスガ、然ルニ本法ニ於テ、特ニ振出地ニ於テ支拂ヲスルト云フノハ、實際ノ小切手使用ノ上カラ申シマスト、非常ニ不便ガアルヤウニ思ハレル、又吾々實際今日マデ經驗致シマスル所ニ依リマシテモ、

第五回 昭和八年三月九日

振出人ノ住所デ支拂フト云フコトニナリマス、實際ニ於テ支拂ガ行ハレナイト云フ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ、私ハ考ヘル者デアリマスカラ、質問ヲシテ見タインデアリマス

○長島政府委員 全ク御尤ナ御質問デアリマシテ、御質問ノヤウナ場合デアリマス、實ハ銀行ノ名前サヘ書イテアレバ、何處ニ其銀行ガアッテモ分リマスケレドモ、場合ニ依リマス、唯何々銀行ト書イテアッテ、實ハソレガ支店デアッテ、支店ノ所在地ガ能ク分ラヌ場合モアリマス、又是ハ獨リ銀行ノミナラズ、信用組合ヤ何かモ指定サレル譯デアリマスカラ、サウ云ウ場合ニ實際所在ノ分ラヌヤウナコトモ起リ得ル、詰リ若シドウシテモ、其手形ニ現ハレテ居ラヌヤウナ營業所ヤ事務所ニ呈示シナケレバナラヌト云フコトニナリマス、其呈示ヲシナイト云フト、結局償還請求ガ出来ナイコトニナリマスカラ、ソレデハ危険ガアル、勿論チヨットハ疑問デアリマスガ、若シ其實際ノ小切手面ノ支拂人ノ所デ、事實支拂ヲ受ケテシマヘバ、是ハモウ一遍償還請求トカ何トカ云フヤウナ問題ハ起ラナイノデアリマス、ソレデアリマスカラ小切手ノ所持人ガ、其營業所ナラ營業所ヲ搜シテ、持ッテ

行ッテ支拂ヲ受ケレバ、ソレデ宜イノデアリマスガ、之ヲ償還請求ノ證券ニシテ置キマス、實際分ラナイ時ニ捜サナケレバナラヌト云フコトニナル、デアリマスカラ、斯ウシテ置ケバ、結局所持人ハ實際ノ銀行ノ所在ヲ搜シテ、支拂ヲ受ケテシマヘバ、ソレデ宜イノデアアル、斯ウ云フコトニナルノデ、此方ガ宜イカト思ヒマス、尙ホ其點多少疑ハアリマスガ、一步ヲ譲ルト致シマシテモ、小切手ハ始終印刷デヤリマスカラ、實際ニ於テハ、支拂地若クハ支拂人ノ肩書ヲ書カナイコトハナイト思ヒマスカラ、問題ハ起ラヌト思ヒマス、起ルトシテモ、今ノヤウナ結果ニナルト思ヒマス

○松木委員 意見ノ相違デアリマスカラ、此點ハ此程度ニ致シテ置キマシテ、此第三條ニ「小切手ハ其ノ呈示ノ時ニ於テ振出人ノ處分シ得ル資金アル銀行ニ宛テ且振出人ヲシテ資金ヲ小切手ニ依リ處分スルコトヲ得シムル明示又ハ默示ノ契約ニ從ヒ之ヲ振出スベキモノトス」トアリマス、此規定ハ、第一ハ宛名人ハ銀行ニ限ラレタルコト、第二ハ小切手ニ依ッテ處分スルコトヲ得シムル明示又ハ默示ノ契約ニ從ヒト云フ、此規定ヲ見マスルト、振出人ト銀行トノ間ニ、或ル明示默示ノ契約ガアッテ、其契約ニ依ッ

テ支拂ハレルモノデアルト云フヤウニ解釋サレ得ルノデアリマス、左様ニ解釋シテ來ルト、支拂人ハ小切手法上ノ原則トシテハ支拂ノ義務ガナイコトニナッテ居リマスガ、此規定ヲ見マスルト、支拂銀行ニ於テ此契約ニ依ッテ支拂ノ義務ガアル如クニ解釋サル、ノデアリマス、若シ左様ニ解釋スルコトガ出来ルトスルナラバ、支拂ハレザル場合ニ於テ支拂人ニ對スル責任ノ歸結ニ關シテ、何か規定ガナイノヲ一寸不合理ノヤウニモ感ゼラレルノデアリマス、一方ニ振出人ガ、此規定ニ準據セザル場合ニ於テ、過大ノ過料ニ處セラレルト云フ罰則マデ附セラレテ居リマシテ、而モ斯様ナ契約ガアッテ振出シタモノヲ、銀行ガ支拂ハザル場合ニ於テ、尙ホ何等ノ義務責任ナシトスルト云フコトハ、ドウモ餘リニ支拂人ノ責任ガ輕イヤウニ考ヘラレルノデアリマス、政府委員ノ方デハ、無論此第三條ニ契約トアリマスケレドモ、支拂人ハ支拂ノ義務若クハ債務ナシト見テ居ラレルノダラウト思ヒマスガ、如何デスカ

○長島政府委員 此規定ガアリマスノハ、小切手——契約ナクシテ小切手ヲ振出セバ、結局其小切手が不渡ニナリ、支拂證券タル小切手が信用力ヲ失フ、ソレデハ困ル

カラ、小切手ヲ振出スノニハ、必ズ斯ウ云フ小切手契約ガナクテハナラヌト云フコトヲ規定シテ居ル次第デアリマス、ソレデ學理上カラ申上ゲマスレバ、御承知ノ如ク此小切手契約ガアリマスレバ、無論支拂人ハ振出人ニハ支拂ノ義務ヲ負ヒマスカラ、若シ其小切手ニ呈示サレタ場合ニ、之ヲ支拂ヒマセヌナラバ、小切手契約上ノ色々履行ノ義務トカ、損害賠償ノ義務ヲ無論負ハナケレバナラヌノデアリマシテ、此小切手契約ノ内部關係ニ於テ義務ヲ負フノハ當然デアリマス、併シ小切手ノ外部關係ニ於テハ、小切手上ノ義務ハ是デハ負ハヌ、詰リ小切手契約ガアリマシテモ、内部關係ハ無論負ヒマセウガ、對外關係ノ義務ハ生ジナイ譯デアリマス、而シテ實際經濟的ニ考ヘテ見マスレバ、小切手ハ常ニ必ズ小切手契約ガナケレバ、無効ト云フコトニナッテ居リマシテ、是ハ或ハ外部關係ニ於テモ、支拂人ニ支拂ノ義務ヲ負ハシテ宜イノデアリマスガ、但書ニアリマスヤウニ、小切手契約ノナイ場合デモ、小切手ハ有效ニナッテ居リマスカラ、ソコデ常ニ此支拂人ニ小切手上ノ義務ヲ有タセルノハ、ドウカト云フコトカラ出テ居ルノデアリマス、尙ホ此處ニモアリマスヤウニ、小切手ノ支拂人ハ銀

行若クハ是ト同様ノ施設ノモノデアリマス
カラ、縦バ小切手ノ支拂人ニ支拂ノ義務
ヲ小切手上認メマセヌデモ、實際ニ於テハ
小切手契約ノアルヤウナ場合ニハ支拂ヲ爲
スノデアリマセウシ、尙ホ小切手ノ支拂保
證等ノ規定モアリマスカラ、ソレ等ノ點ヲ
以チマシテ、小切手ノ融通性ヲ十分ニ確保
スルコトガ出來ルモノト存ジマス

○松木委員 只今ノ政府委員ノ説明ニ依リ
マスト、銀行ト振出人トノ間ノ契約ニ依ッテ
支拂ノ義務ガアルト云フガ如ク、御説明ニ
ナツタヤウデアリマスガ、小切手ハ常ニ必シ
モ振出人ガ支拂ヲ請求スルバカリデナク、
多クノ場合ニ於テハ、第三者ニ交付シテ支
拂ヲスルコトニナル、サウスレバ振出人ト
ノ契約ニ依ッテ支拂ヲスルト云フ趣旨ハ、振
出人ハ勿論小切手ノ如何ナル所持人ニ對シ
テモ支拂フト云フ契約ト見ナケレバナラナ
イノデアリマス、果シテサウ解釋サル、ナ
ラバ、支拂ハザル場合ニ於テ、何等カ其責
任ノ歸結ガ無イトスレバ、非常ニ支拂人ト
云フモノヲ責任ノ無イ地位ニ置クヤウニ考
ヘラレル、少クモ此規定ハ「契約ニ從ヒ」
トアリマスカラ、或ハ銀行ガ第三者ニ給付
ヲ爲スコトヲ約シタル場合ニ、第三者ガ其
給付ニ對シテ同意ラスレバ、直チニソレノ

ノ權利義務ノ關係ガ發生スルト同ジヤウ
ニ、此規定ガ解釋サル、ノデアリマス、私
ハ特ニ此支拂ニ對シテ小切手ノ保證人ヲ付
ケタ場合ニ於テ、銀行ガ支拂ヲ爲サザル爲
ニ、遂ニ保證人ガ支拂ヲシナケレバナラス、
保證人ガ支拂ヲシナケレバナラス場合ニ於
テ、斯様ナ無責任ヲ銀行ニ對シテ、保證人
ガソレニ對シテ遡求權ナリ、追求權ナリヲ
有セシムルト云フコトニスル方ガ、其小切
手ノ支拂ト云フモノヲ、非常ニ確實ナラシ
ムルヤウニ考ヘル、然ルニ此規定ニ依リマ
スト、小切手ノ保證人ハ、銀行ト振出人ト
ノ間ニ、斯様ナ小切手ニ依ッテ支拂ヲシナ
ケレバナラナイ契約アルニ拘ラズ、尙ホ
保證人ガ支拂人ニ對シテ支拂保證ノアル場
合ハ格別デアリマスケレドモ、保證人ハ遂
ニ銀行ニ對シテ遡求權ヲ有シナイト云フヤ
ウナ結果ニナツテ、非常ニ不都合デハナイカ
ト私ハ考ヘル、支拂人ガ支拂保證ヲシタ場
合ニハ、此小切手法ニ依リマスト、保證人
モ遡求權ガアリヤ否ヤハ問題デアリマス
ガ、支拂人ガ支拂保證シタ場合ニ於テハ、
總テノ場合ニ於テ遡求權ヲ有スル、併シ保
證人ト雖モ尙且ツ支拂保證ヲシタ場合ニモ
遡求權ガナイヤウニ、私ハ此規定ヲ見テ居
タノデアリマスガ、此點ハ後デ伺ッテ見ヨウ

ト思フノデアリマス、或ハ序ニ只今一緒ニ
伺ッテ見タ方ガ便宜カモ知レマセヌ、支拂人
ガ支拂保證ヲ致シマシタ場合ニ於テ、支拂
人ガ支拂ハザル時ニ於テハ、手形ノ所持人
等ガ、其債務者前者ニ對シテ遡求權ヲ有ス
ルノデアリマスガ、保證人ハ支拂人ガ支拂
ヲ保證シタ場合ニ於テモ、保證人ハ自分ノ
支拂タモノニ對シテハ、支拂人ニ對シテ遡
求權ヲ有シナイヤウニ私ハ見テ居リマシタ
ガ、其點ハ如何デアリマスガ

○長島政府委員 私或ハ御間ノ全部ヲ御答
シナイカモ知レマセヌカラ、漏レマシタラ
又御間ヲ願ヒマス、小切手契約ガアリマス
レバ、支拂人ハ振出人ニ對シテ義務ヲ持ッテ
居リマス、ソレヲ振出人ニ支拂ノ義務ガア
ルト云フコトニ御取リニナツタナラバ、ソレ
ハ私ノ言葉ガ足リナカッタノデアリマスガ、
第三者ノ小切手ノ所持人ニ對シテハ、支拂
フト云フ義務ハ振出人ガ持ッテ居リマスガ
ラ、小切手契約ガアルニ拘ラズ之ヲ拂ハナ
ケレバ、小切手契約上ノ債務不履行ノ責任
ハ振出人ガ負ヒマスケレドモ、併ナガラ小
切手法上ニ於テハ、別段ニ支拂人ハ支拂ノ
義務ヲ負ハナイ、斯ウ云フコトニナリマス、
是ハ御承知ノ如ク現行ノ小切手デモ、全然
ソレハ同ジコトニナツテ居ルコト、思ヒマ

ス、ソレカラ保證人ノコトハ、支拂保證ヲ
シテ居ル場合ノ保證人デアリマスガ

○松木委員 ソレデハモウ少シ申上ゲテ置
キマス、第二十七條ノ第三項ニ「保證人ガ
小切手ノ支拂ヲ爲シタルトキハ保證セラレ
タル者及其ノ者ノ小切手上ノ債務者ニ對シ
小切手ヨリ生ズル權利ヲ取得ス」トナツテ居
リマスガ、此支拂債務者、支拂上ト小切手
上ノ債務者ト債務者ノ中ニハ、支拂人ガ支
拂保證シタ場合ト雖モ、之ニ含まレナイヤ
ウニ思ハレル、含ムカ、含マヌカ、ソレヲ
一寸御聽キシテ見タイノデアリマス

○長島政府委員 私ノ説明ガ思違ヒデアリ
マシタラ直シマスガ、此保證ノ中ニハ、支
拂人ガ保證スルト云フコトハ入ッテ居ラヌ
ト思ヒマス

○松木委員 斯ウ云フコトニナルノデセ
ウ、支拂人ガ支拂保證ヲスルト云フコトハ
本法ニ認メラレテ居リマスナ

○長島政府委員 其通りデアリマス

○松木委員 支拂人ガ支拂保證ヲ致シマシ
タ場合ニ於テハ、其手形ガ支拂ハレザル場
合ニ於テ、手形ノ所持人ハ遡求權ヲ有シテ
居リマスネ、支拂人ニ對シテ——原則トシ
テハ支拂人ニ遡求權ハナイト思ヒマスガ：

○長島政府委員 振出人デス……

○松木委員 イヤ支拂人デス、支拂保證ヲシタ場合、償還請求權ト云フカ、遡求權ト云フカ……

○長島政府委員 請求權ハアリマス——支拂保證ヲスレバ、支拂人ハ手形上自ラ支拂ヲ爲ス義務ヲ負フノデスカラ、少シ違ヒマシガ、恰モ手形ノ引受人ノヤウナ地位ニ立ッテ、全然トハ云ヒマセヌガ、其人間……

○松木委員 ソレハサウデゴザイマスケレドモ、第五十九條デスナ「支拂保證ヲ爲シタル支拂人ハ呈示期間ノ經過前ニ小切手ノ呈示アリタル場合ニ於テノミ其ノ支拂ヲ爲ス義務ヲ負フ」トアリマス、支拂ナキ場合ニ於テ斯ウ云フ規定ガアリマス「支拂ナキ場合ニ於テ前項ノ呈示アリタルコトハ第三十九條ノ規定ニ依リ之ヲ證明スルコトヲ要ス」第四十四條及第四十五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス」トアリマスカラ、支拂人が支拂保證ヲ致シマスレバ、此準用規定ニ依ッテ、即チ償還ノ義務ガアルト云フヤウニナルト思フ、所持人ニ對シテ——第四十四條第四十五條デハデスナ——

○長島政府委員 詰リデスナ、支拂保證ヲシタ人間ハ、支拂人ハ普通ノ引受人ト違ヒマシテ、絶対ニ其支拂ノ義務ヲ負ハナクテ、

呈示期間ノ經過前ニ小切手ヲ呈示サレタ時

ダケ支拂義務ガアル譯デスナ、ソレデスカラ、呈示期間ノ經過前ニ其小切手ヲ呈示シタカドウカト云フコトハ、後日證明ヲシマセヌト、果シテ其支拂保證人ニ義務違反ガアルカドウカト云フコトハ分リマセヌカラ、ソコテ其呈示期間前ニ若シ支拂ヲシナカッタ時ニハ、其呈示期間前ニ所持人ノ方カラ呈示ヲシタト云フコトヲ三十九條ノ規定

デ證明ヲスル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、デスカラ支拂人自身ハ、別段償還義務者トカ何トカ云フヤウナ、自分ガ主タル義務者——主タルト云フト語弊ガアリマシガ、マア主タル義務者ニ立ッ譯デス

○松木委員 私ノ解釋ハ、或ハ私ノ研究ガ足りナカッタカラデアアルカト思ハレマスガ、サウスルト支拂人ハ原則トシテハ支拂義務ガアルノデアリマスケレドモ、支拂保證シタ場合ニハ支拂義務ガ發生スル、支拂義務ガ發生スルナラバ、支拂ハザル場合ニ於テ、其小切手ノ所持人ニ對シテ責任ヲ負ハシメルト云フコトハ、必要デナイカト思フノデアリマスガ、其點ハドウナルノデスカ

○長島政府委員 詰リ支拂人ハ其支拂保證ヲ致シマス、爲替手形ノ引受人ト殆下同ジヤウナ地位ニ立ッノデアリマスガ、ソレ

ハ唯呈示期間ノ經過前ニ小切手ノ呈示ガ

アッタ場合ノミデアッテ、呈示期間後ニ呈示ガアッテモ、支拂保證ヲ爲シタ支拂人ハ、支拂義務ガナイト云フコトデアリマス、デスカラ支拂人自身ニハ遡求權ト云フヤウナ問題ハ生ジナイ譯デアリマス、詰リ支拂人ガ支拂ヲ致シマセヌト、無論六十條ニ依ッテ遡求權ヲ放棄シテ、裏書人、振出人ニ義務ガ

行クノデアリマスガ、大體引受人ト同ジヤウナ立場ニ立ッ譯デ、唯違フノハ、支拂保證人ノ義務ガ限定サレテ居ルト云フ所ガ違フダケデス

○内藤委員 之ニ關聯シテ政府委員ニ伺フノデアリマスガ、二十六條ノ「保證ニハ何人ノ爲ニ之ヲ爲スカヲ表示スルコトヲ要ス其ノ表示ナキトキハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス」此規定ハ、例ヲ擧ゲテ言ヘバ、ドウ云フ場合ニ當ルノデスカ

○長島政府委員 例ヘバ保證人ニ裏書人ガアルトスル、サウスルト裏書人甲ノ爲ニ保證スルトカ、サウ云フコトニナリマス

○内藤委員 振出人ノ爲ニシ、裏書人ノ爲ニスル場合ニ、何人ノ爲ニ之ヲスルノデスカ

○長島政府委員 詰リ裏書人ノ甲ナラ甲、乙ナラ乙ノ爲ニ保證ヲスルト云フコトニナ

ルノデス

○松木委員 ドウモ私ノ質問ガ肯察ヲ得ナイノカ、或ハ研究ガ足りナイノカモ知レマセヌガ、兎ニ角此程度デ私ノ質問ハ打切ッテ置キマス

○鳩山委員長 一寸今ノ松木君ノ質問ノ點デスガ、政府委員ノ答辯デ分ッテ居ルヤウニ思ヒマスガ、速記録ニ殘ッテ疑ガ起ルトイカヌト思ヒマシテ、政府委員ニ私カラ御尋シマスガ、五十九條ノ第三項デ「第四十四條及第四十五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス」ト云フノハ、其請求金額ノ範圍ダケニ付テ準用シ、其權利ノ性質ハ違フモノデアル、四十四條、四十五條ハ遡求權ノ範圍ニ付テダケ準用ガアルト云フコトデアリマセヌカ

○長島政府委員 其通りデアリマス

○鳩山委員長 他ニドナタカ御質問ハオアリニナリマセヌカ

○三上委員 是ハ私ハ他ノ方ニ出テ居リマシタ爲ニ、モウ既ニ質問ヲセラレテ答辯ガアレバ、速記録ヲ見マスカラ、御答ヲ願ハナクテモ宜イノデスガ、條約ト國內法トノ關係、條約トシテ國民ガ遵守力ヲ有ッテ居ルニモ拘ラズ、尙且ツ議會ニ於テ協賛ヲシナケレバナラヌトスレバ、其處ニドレダケノ

力ガアルカト云フ點、此點ニ付テハ、モウ既ニ司法省ノ答辯ガアッタノデスカ

○鳩山委員長 一般的ノ條約ト國內法ノ效力ノ問題ト云フヤウナ、廣イ問題ニ付テノ質問ハアリマセヌ、唯此條約ガ效力ヲ生ジナカッタ場合ニハ、此法案ガドウナルカト云フコトニ付テノ質問ハゴザイマシタ

○三上委員 私ハ條約ガ批准ヲサレテ公布

サレ、バ、國民ニ遵守力ガアル、ソレダノニ尙且ツ此議會ニ於テ審議シテ、其處ニドレダケノ效力ガアルカ、ドノ點ニ於テ必要ガアルカト云フ點ヲ御聽キシタイノデス、ソレカラモウ是ハ答辯ガアッタト考ヘマスノデ、強テ御聽キスル積リハアリマセヌガ、若シ御差支ガナカッタラバ、一言説明ヲ願ヘレバ結構ト思ヒマス、貴族院ノ修正ヲ見マスルト、通則ト支拂保證ヲ變更サレテ居ルノデアリマスガ、此變更サレタコトニ付テ、司法省ハ御異存ガナカッタノデアリマセウカ、變更スルコトガ宜シイト御考ニナッタノデアアルカドウカ、ドウ云フ譯デ變更ヲ御承諾ニナッタカト云フコトヲ、一ツ御説明ヲ願ヒタイ、其次ニ五十一條ノ時効ニ關スル點デアリマスガ、六箇月ニシテ時効ニ權ルコトニサレタノハ、現行ノ規定ニ較ベテ半分ニサレタ譯デサガ、ソレデ果シテ取引ノ安

全ヲ害スルコトガナイカドウカ、現在ヨリモ六箇月ニシタ方ガ、取引ノ實際ニ適應シテ、一般ノ民衆ニ利便ヲ與ヘルコトガ出來ルノデアアルカドウカト云フ點ヲ、一ツ御尋シタイノデアリマス、ソレカラ第五十六條ニ「恩惠日ハ法律上ノモノタルト裁判上ノモノタルトヲ問ハズ之ヲ認メズ」ト書イテアリマスガ、恩惠日ト云フモノヲ認メナイト云フコトニシタ趣旨ト、恩惠日ノ活力ハ、ドウ云フ場合ニ主トシテアルモノデアリマセウカト云フコトヲ御尋シタイ、最後ニ七十一條ニ「小切手ノ振出人ガ第三條ノ規定ニ違反シタルトキハ五千圓以下ノ過料ニ處ス」ト云フ規定ガアルノデアリマス、能ク小切手ヲ濫發シタ場合ニ於テ、現在ノ狀態ニ於キマシテモ、詐欺ノ告訴ヲスル、或ハ商法上ニ於ケル制裁ヲ要求スルト云フコトガアツテモ、小切手ノ濫發其他ノ手形ノ濫發ニ對シテ、刑事上ノ責任ヲ課セラレルコトガ、殆ド無イヤウニ私ハ考ヘテ居ル、又手形上ノ制裁ヲ課セラレルコトモ、是ハ稀有ノコトデハナイカト思フノデアリマス、ソレデ七十一條ニ斯ウ云フ制裁規定ヲ掲ゲラレマシタガ、之ヲ活用スル場合ガアルノデアリマセウカ、活用スルトスレバ如何ナル場合ニ之ヲ適用サレルコトニナルノデアリ

マセウカ、其點ヲ私ハ少シ現在ノ實際ト比較致シマシテ、是ハ執行者ノ手加減ノ關係デアアルカドウカ、ドウモ空文徒勞ニ終ル所ノ感ガアリマスルノデ、此點ヲ活用シテ法律ノ精神ヲ充實スルト云フ點カラ、一、御話ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ最後ニモウ一點、七十五條ニ今ノ商法ノ規定ト對照シテ一寸御説明ヲ煩シタイノハ「本法ニ於テ休日トハ祭日、祝日、日曜日其ノ他ノ一般ノ休日ヲ謂フ」ト書イテアルノデサガ、祭日、祝日、日曜日以外ノ其他ノ一般ノ休日ト云フコトハドウ云フ風ナ場合ガ、其他ノ一般ノ休日ト云フコトニナルノデアリマセウカ、御説明ヲ御願シタイノデス

○長島政府委員 御承知ノ如ク條約ガ直チ

ニ法律トシテ效力ヲ有スルカ否カ、議會ノ協贊ヲ待タナイデ直グ效力ヲ有スルカドウカ、大分是ハ色々議論ガアルコトノヤウニ思ヒマシテ、最初此條約ニ於キマシテハ、條約ノ第一條ニ締約國ハ本條約ノ第一附屬書タル統一法、即チ此手形統一法ヲ原本文ノ一、原文デ又ハ自國語デ各自ノ領域ニ施行スルコトヲ約ス、詰リ條約ノ附屬書ニアルモノト同ジモノヲ法律ノ形デ施行スルコトヲ約シテ居リマスルカラ、之ヲ批准致シマシテモ直チニハ附屬書ハ效力ヲ生ジナイ

デ、ソレト同ジモノヲ法律トシテ施行スルト云フコトヲ約シテ居ル形ノヤウデアリマス、嚴格ニ申シマス、之ヲ直グヤラヌデ條約ヲ批准シテモ、批准書ハ效力ヲ有スルカモ知レマセヌガ、施行スルコトヲ約スストスウアリマスカラ、ソレト同ジモノヲ法律トシテ出ス義務ヲ有ッテ居ル、此義務ヲ履行シナケレバ結局條約上ノ義務違反ニナルト云フコトニナツテ居リマスノデ、少クトモ條約關係ニ於テハ是ト同ジモノヲ法律デ出サナケレバナラナイモノデアルト考ヘテ居リマス、尙ホ之ニハ御承知ノ如クニ附屬書ダケデナク、色々留保セラレマシタ項ガアリマシテ、多少取換ヘテ之ヲ國內デ統一シナケレバナラナイ關係ニナツテ居リマス、ソレカラ尙ホ附則モ設ケラレナケレバナラナイノデアリマスカラ、旁々以テ是ハ法律ノ形ニスベキモノダト考ヘテ居リマス、ソレカラ貴族院デ通則トデ支拂保證ノ順序ヲ取換ヘラレマシタ、私共ハ是ハモウ非常ニ研究致シマシタコトデ、支拂保證ノ規定ヲ何處ヘ置クカト云フコトハ非常ニ研究サレマシテ、委員會ノ方モ非常ニ研究サレマシテ、或ハ附則ノ中ニ置カフト云フコトモアリマシタ、ソレカラ通則ノ前ニ置カフト云フ説

モ無論アッタノデアリマスガ、先ツ條約ノ附

屬書ノ部分ダケヲソックリ前へ置イテ、ソレカラ後へ附屬書ニナイモノヲ置ク方ガ宜カラウト云フノデ置イタノデアリマス、貴族院ノ方デハサウ云フ形ノ方ニ依ラナイデ、寧ロ實質ノ方デ、通則ノ規定ノ中ニ支拂保證ノ適用ノアルモノモアルノデヤナイカ、尙ホ條文ガ一箇條宛法律ノ附屬書ヨリハ繰上ッテ居リマス、ソレハ計算小切手ノ規定ガアリマセヌカラ、サウ云フ關係デ條文ノ一箇條ガ繰上ッテ居ルノダカラ、一ツ宛前ニ置イタラドウカ、斯ウ云フコトデアリマス、斯ウ云フコトニナリマスト一寸議論ノ出來ナイ問題ガアリマシテ、一方ハ形式ノ方カラ後へ置イタ、一方ハ實質ノ方カラ前へ置イタト云フコトデ、議論ニナリマセヌノデ、強テ反對モ出來ナイカラ其儘ニナツテ居ルノデアリマス、決シテ政府ハ贊成ト云フ譯デハアリマセヌガ、サウ云フ次第デアリマス、ソレカラ五十一條ノ時效ヲドウシテ短クシタカト云フ御尋ハ御尤デアリス、御承知ノ如ク小切手ハ支拂條件デアリマシテ、餘リ長ク未確定ノ状態ニ權利關係ヲ置クコトハ面白クナイノデ、六ヶ月間位デ宜カラウ、尙ホ之ニ付テハ一般的ニ實業界ノ方ノ意見モ聽キマシタガ、特ニ之ニ付テ反對ハナカッタヤウデアリマス、ソレカラ五

十六條ノ恩惠日ノコトハ、五十六條ニナツテ居ルカ、或ハ今ハ順ガ變ッテ居ルカモ知レマセヌガ、是ハ洵ニ御尤ナ御尋デ、翻譯スル時ニモ實ハ少シ滑稽ノヤウニ思ッテ居ッタノデアリマスガ、其趣旨ハ英吉利カ何處カノ法律デ、多分小切手法上ノ期間ヲ一日ヤ二日延バスト云フ、恩惠日ガアリマスガ、サウ云フモノハ法律上ト裁判上トヲ問ハズ認メナイ、斯ウナッテ居リマスガ、實ハ之ニハ恩惠日ト云ヘバ云ヘルヤウナモノモアリマス、一日カ二日延ビテモ、ソレハ法律上ノモノダカラ宜イ、ト云フ當リ前ノコトヲ言ッテ居ルノデアリマスガ、結局ハ各國ノ法律デ恩惠日ト云フヤウナモノヲ認メテ居ッテモイカナイゾ、此條約以外ノ恩惠日ト云フモノハ一切認メナイゾト云フコトヲ、念ノ爲ニ書イタノデアリマス、是ハナクテモ宜イノデアリマスケレドモ、統一法以外ノ恩惠日ト云フモノハ、法律上ノモノデモ、裁判上ノモノデモ、ソレヲ各國デ勝手ニ決メルコトハ、此條約ニ這入ッテ居ル以上ハ、出來ナイト云フ意味デアリマス、ソレカラ七十一條ノ過料ノ制裁ノコトデアリマシマスガ、是ハ御承知ノ通り實際上行ハレテ居ラヌヤウデアリマス、是ハ總テヲ通ジテ實際民事的ノ犯罪ニ對スル刑事上ノ制裁ト云フ

モノガ一般ニ行ハレテ居ラヌノガ、茲デ申スノハドウカト思ヒマスガ、或ル程度迄ハ遺憾ナコト、存ジテ居リマスガ、何分ニモ檢事ノ數ガ足ラナイノデ、甚ダ思フヤウニソレガ行ッテ居リマセヌ、過料ノ制裁モ恐ラク刑事上ノ問題デナク、民事上ノ問題ニナリマスガ、是モ餘リ行ハレテ居ラヌヤウデアリマスガ、私ノ希望ト致シマシテハ、今後ハ、アル以上ハ成ベク厲行スベキモノデアッテ、寬嚴宜シキヲ得ルコトハ必要デアリマスケレドモ、或ル程度迄ハ是非用フベキモノデアアル、又漸次左様ニ致サナケレバナラ七十五條ノ一般ノ休日ト申シマスモノハ、日本等デハ餘リナイヤウデアリマスガ、外國ニハ能ク「バンクホリデー」ト云フモノガアリマスガ、サウ云フモノモ這入りマス、又地方的ノオ祭りヤ何カデ、銀行ヤ何カデ休ムト云フコトガアレバ、サウ云フヤウナコトモ之ニ這入りマス、其他何か地方的ニ、取引ヲ一般ニ休ムヤウナコトガアレバ、ソレモ之ニ這入ルト考ヘテ居リマス

○三上委員 只今ノ御説明ヲ承リマシテ大體了解シマシタ、尙ホ條約ノ遵守力ト議會ノ立法ニ對スル協贊ノ議員ノ審査權ト云フヤウナモノニ付テハ疑ガアリマスガ、是ハ議論ヲシテ居ルト憲法論ニナリマスシ、斯ウ云フ特殊ナ法律デアリマスカラ、私ハ是デ打切りマス

○内藤委員 此際一寸……只今政府委員ノ御答辯ノ、一般ノ休日ト云フヤウナコトニ付テ疑義ヲ生ジナイヤウニ、是ハ速記録ニ殘ルコトデアリマスカラ、此際一般ノ休日ト云フモノヲモウ少シ明ニシテ置キタイ、例ヘバ一月二日ハ祭日デアリマセヌガ、一般ニ休ミデアルト云フヤウニ、例示的ニハ政府委員カラ此際御答辯願ッテ置クコトガ、私ハ宜イノデナイカト思ヒマス、局部的ナ地方的ノオ祭ヲスルト云フヤウナ時ハ、オ祭りヲスル人モアリマセウシ、又セヌ人モアリマセウカラ、一ツ此點ヲ御釋明ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

ソレカラ第二點ト致シマシテハ、曾テ手形法デモ御話ガアッタコトデアリマスガ、本委員會ガ又新ニ開カレタノデアリマシカラ、幸ニ貴衆兩院ヲ此法案ガ通過致シマシテ、公布ニナリマシタト致シマシテモ、條約ガ完全ニ效力ヲ發生スルマデハ此施行期日ハ決メナイノデアアル、若シ何等カノ彈ミニ依ッテ條約ガ不成立トナッタヤウナ場合ニ於テハ、曾テ外國人土地所有法案ガ通過シテ

公布サレテモ、今日尙ホマダ施行サレテ居ラス、是モサウ云フヤウニ取扱フスルノデアル、斯ウ云フヤウナ御明言ヲ得タイノデアリマス、要スルニ此手形法ノ法案ト云ヒ、小切手法ノ法案ト云ヒ、兩院ヲ通過致シテ國內法トシテ公布サレルト雖モ、是ガ實施ニ付テハ相當ナ期間ヲ置イテ、サウシテ準備フスルノデアルト云フコトノ御説明ヲ煩シタイト思ヒマスルガ、政府ニ於テサウ云フヤウナ御用意ガゴザイマスカ、如何デゴザイマスカ

○長島政府委員 第一ノ點ハ、成程私共モ地方的ノ休日ガアルコトヲ申シマシタガ、ソレモ例ノ一ツデアリマスガ、御問ノ如ク一月ノ一日トカ、一月ノ二日ノ如キハ一般ノ休日ノ最モ好イ適例デアリマス

ソレカラ此法律ノ施行ノ問題デアリマシタガ、度々申上ゲマシタ如ク、此法律ハ現行ノ法律ヨリハ良イ點ガ多クアリマスケレドモ、文字ノ使ヒ方ナドモ外ノ法律トハ稍々趣キヲ異ニシテ居リマス、是ハ結局條約ニ加入スルコトノ便宜ノ爲ニ、多少サウ云フ點ヲ忍ンデ居ル譯デアリマスカラ、若シ條約ガ效力ヲ生ジマセヌヤウナ時ニハ、其施行ノ時期トカ、或ハ施行ヲスルヤ否ヤト云フヤウナコトニ付テハ、相當考慮ヲ要スルコ

トデアルト考ヘテ居リマス

○内藤委員 尙ホ此際モウ一ツ伺ッテ置カナケレバナリマセヌノハ、今政府委員ノ御答辯ノ第一點ニ對スル點デアリマス、大體私共ハ諒トスルノデアリマスガ、若シ地方的ノ休日ト云フコトヲ仰セニナルナラバ、土地ヲ隔ッテ、即チ隔地者間ノ取引ニ於テ小切手ガ流通致シマスル場合ニ於テ、甲ノ土地ニ於テハ休日トナリ、乙ノ土地ニ於テハ休日トナラザル弊ガアルコトハ明デアラウト思ヒマス、故ニ茲ニ所謂一般ノ休日トハ日曜、祝祭日以外ニ、更ニ國民ノ一般ノ休日ト目スベキモノ、若クハ地方的デアッテモ、銀行等ガ一般的ニ休業ヲ致シタ、斯ウ云フ場合ヲ説例トシテ政府ハ有ッテ居ルノデアルト云フ御答辯デアラナラバ、私ハ満足致シマスガ、若シ左ニアラズシテ、地方的ノオ祭りノヤウナモノマデ之ニ入レルトナルト、隔地者間ノ取引ニ混雜ヲ來シハセヌカト思フノデアリマス、此點ニ對シテモモウ一應政府ノ答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○長島政府委員 私人ノ答辯ガ少シ言葉ガ曖昧デアッタカモ知レマセヌガ、私ガオ祭りト申シタノハ、其オ祭りノ爲ニ其商賣ノ取引ヲ休ンデシマフ、銀行モ休ンデシマフヤウナ場合ノコトヲ申上ゲタノデアリマス

トデアルト考ヘテ居リマス

○松木委員 ドウモ私モハッキリシナイヤウデスガ、此法律ニ依ッテハ銀行以外ノ組合トカ、會社ト云フモノモ包含スルヤウナコトニナルヤウデスガ、例ヘバ毎月一日ニ業務ヲ休ムト云フヤウナ申合セヲシタ銀行業者ガアル場合ニハ、サウ云フモノハ含マナイコトニナルノデスカ

○長島政府委員 色々ノ例ヲ出シテ御質問ニナルト、甚ダ答辯ニ困リマスガ、銀行ハ御承知ノヤウニ勝手ニハ休メナイコトニナッテ居リマス、銀行業法カ何カニ、大藏大臣ノ許可ヲ得ナケレバナラヌカドウカハッキリシマセヌガ、兎ニ角勝手ニハ休メナイコトニナッテ居リマス、又支拂機關ノアリマス信用組合ナドモ安リニ取引ヲ休ムト云フコトガ出來ナイコトニナッテ居リマス、概シテ申上ゲマシタ、民法ノ解釋デモ休日ノ意味ト云フモノハムツカシイノデアリマシテ、一々ノ場合ヲ舉ゲテ御質問ニナッテモ甚ダ困ル次第デアリマスガ、大體ノ所デ御勘辨ヲ願ヒマス

○松木委員 是ハ私ノ參考ニ伺フノデアリマシテ、自分ガ研究スレバ直グ分ルノデスケレドモ、研究ノ便宜上伺ッテ置キマス、此小切手法ニ手形上ノ債務者ト云フコトガ書イデアリマス、手形上ノ債務者ニハ支拂人

ハ無論含マヌト思フノデアリマスガ、支拂保證ヲシタ場合ニハ總テノ場合ヲ含ムノデアリマスカドウデアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○長島政府委員 ソレハ一寸一概要ニハ申上ゲラレマセヌ、例ヘバ債務者ニ對スル遡求權ナドト云フコトガアリマス場合ニハ、支拂保證人ニハ遡求權ノ問題ガナイカラ起ラナイト思ヒマス、一寸其場合々々ニ依ッテ違フコトガアルト思ヒマスノデ、條文ニ付テ御尋ヲ願ヒマセヌト、或ハ答ガ不正確デハナイカト思ヒマス

○松木委員 條文ガ澤山アリマスカラ一々舉ゲマセヌガ、一條項ニ付テ伺ッテ置キマス、第二十七條ノ第三項ニ「保證人ガ小切手ノ支拂ヲ爲シタルトキハ保證セラレタル者及其ノ者ノ小切手上ノ債務者ニ對シ小切手ヨリ生ズル權利ヲ取得ス」トアリマス、是ハ支拂人ヲ含マナイノデアリマセウカ、支拂人ガ支拂保證ヲシタ場合ニハ此處ニ入ルノデアリマスカ、含マナイノデアリマスカ

○長島政府委員 甚ダムツカシイ御尋デアリマスガ、此條文自身トシテハ、支拂保證ノ場合ヲ想像シテ居リマセヌケレドモ、併ナガラ無論支拂保證ヲシテ居ル者ハ一ツノ

ナガラ無論支拂保證ヲシテ居ル者ハ一ツノ

引受人ト同ジヤウナ關係ニアルノデスカ
ラ、ソレヲ保證スルコトガ出來ルト思ヒマ
ス

マス、次會ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス
午前十一時五十一分散會

○松木委員 ハッキリシナイヤウデスガ、モ
ウ一度……

○長島政府委員 アナタノ御質問ハ支拂保
證ヲシテ居ル者ニ保證人が出來ルカト云フ
御質問デハナカッタノデスカ

○松木委員 サウデヤナイ、保證人が小切
手ノ支拂ヲ致シマス、小切手上ノ權利ヲ
取得スルノデスナ

○長島政府委員 サウデス

○松木委員 小切手上ノ權利ヲ取得シマス
ガ、支拂人が支拂保證ヲシタ場合ハ、保證
人ニ對シテ支拂ノ義務アリヤ否ヤト云フ結
論ニナルノデス、ソコデ支拂人が支拂保證
ヲシタ場合ニハ、手形上ノ債務者ト云フ中
ニ包含スルヤ否ヤト云フコトデアリマス
○長島政府委員 ソレハ包含スルト思ヒマ
ス、引受人ト同ジヤウナモノデスカラ……
○一松委員 本日ハ此程度ニ致シテ、更ニ
續行致シテ戴キタイ思ヒマス、私共マダ質
問ガ残ッテ居リマスカラ、ソレニ吾々代議
士會モアリ、色々用事ガアリマスカラ……

〔賛成〕賛成〕ト呼フ者アリ〕

○鳩山委員長 ソレデハ此程度デ散會致シ